

◎12. 7津波警報緊急調査 自主防災会・町内会長調査集計表

1 調査表回収率

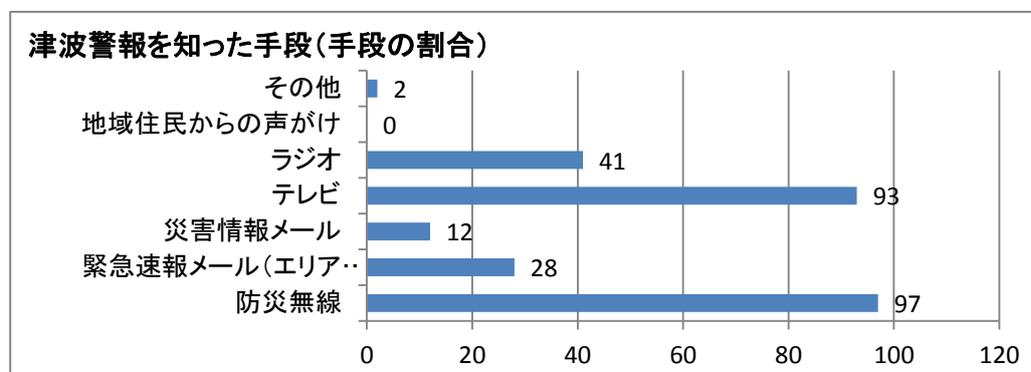
発送数	回収数	回収率
195	146	75%

2 調査表回収地区

日和山	門脇・中央・住吉	釜・大街道	山下	駅北・元倉	水明・大橋・水押
7	16	8	10	8	6
蛇田	湊	渡波	稲井	荻浜・田代	合計
24	15	28	13	11	146

3 津波警報を何により知りましたか？(複数回答可)

①	防災無線	97	66%
②	緊急速報メール(エリアメール)	28	19%
③	災害情報メール	12	8%
④	テレビ	93	64%
⑤	ラジオ	41	28%
⑥	地域住民からの声かけ	0	0%
⑦	その他	2	1%

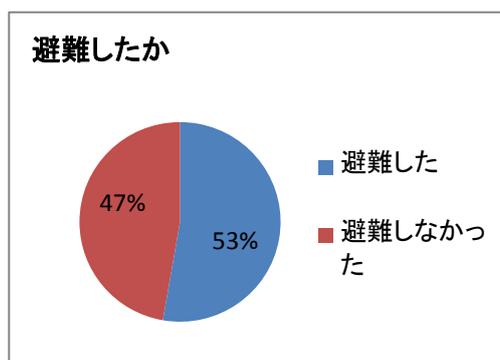


- ・ 手段の内訳を把握するために複数回答としたが、防災無線が最も多く、66%の人が防災無線により知ったと答えている。
- ・ 防災無線の次に多かったのがテレビで64%である。
- ・ 緊急速報メールは19%、市の災害情報メールは8%となっている。
- ・ その他は、家族からの電話と広報車である。

4 避難しましたか？

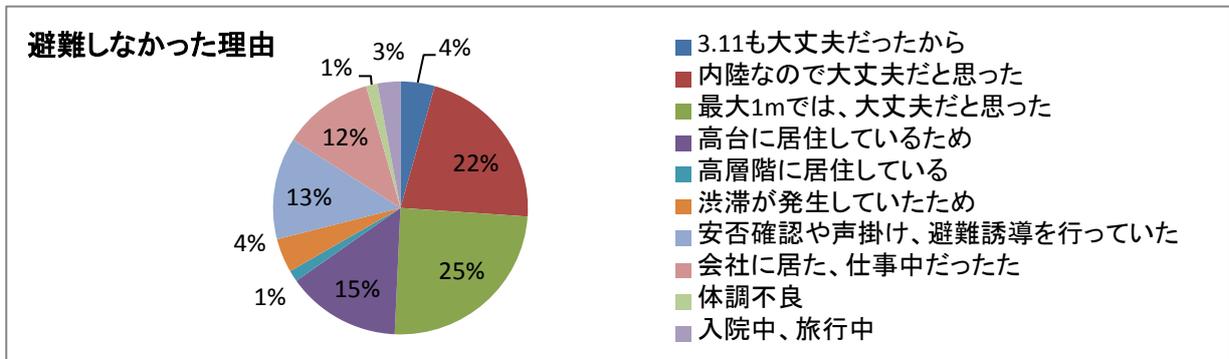
①	避難した	77
②	避難しなかった	69

- ・ 内陸部を含め全地区を対象としているが、半数以上の住民が避難している。
- ・ 津波の影響のない内陸部を除いた避難率は約6割である。



※ 避難しなかった理由

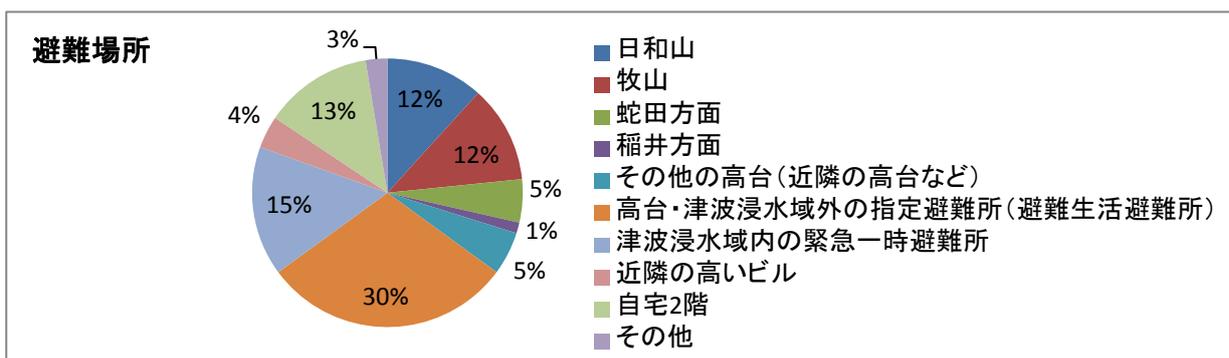
3.11も大丈夫だったから	3
内陸なので大丈夫だと思った	15
最大1mでは、大丈夫だと思った	17
高台に居住しているため	10
高層階に居住している	1
渋滞が発生していたため	3
安否確認や声掛け、避難誘導を行っていた	9
会社に居た、工作中だった	8
体調不良	1
入院中、旅行中	2



- 避難しなかった理由で最も多かったのは、「最大で1mと確認したので大丈夫だと思った」からで、全体の25%である。「内陸なので大丈夫だと思った」、「高台に居住しているため」が次に多く、「3.11も大丈夫だったから」、「高層階に居住しているから」を含め、避難しなかった人の約7割が「避難しなくても大丈夫」だと判断したためである。
- 自主防災会や町内の代表の立場から「安否確認や声掛け、避難誘導を行っていた」とした人が13%である。
- 「会社にいた、工作中だったため」とした人は12%である。

5 どこに避難しましたか？

①	高台・津波浸水域外	27
	ア 日和山	9
	イ 牧山	9
	ウ 蛇田方面	4
	エ 稲井方面	1
	オ その他の高台（近隣の高台など）	4
②	高台・津波浸水域外の指定避難所（避難生活避難所）	23
③	津波浸水域内の緊急一時避難所	12
④	近隣の高いビル	3
⑤	自宅2階	10
⑥	その他	2



- 高台や津波浸水域外に避難した人は65%、その中で避難所に避難した人は30%である。日和山や牧山に避難した人の半数は屋外や車内に避難していた。
- 緊急一時避難所の中では、中里小学校、開北小学校、渡波小学校が多かった。
- その他は、消防本部、県石巻合庁である。

6 何により避難しましたか？

①	徒歩	35
②	自転車	3
③	バイク	0
④	車	28

- ・ 徒歩が53%と若干多いが、車とほぼ同じ割合である。

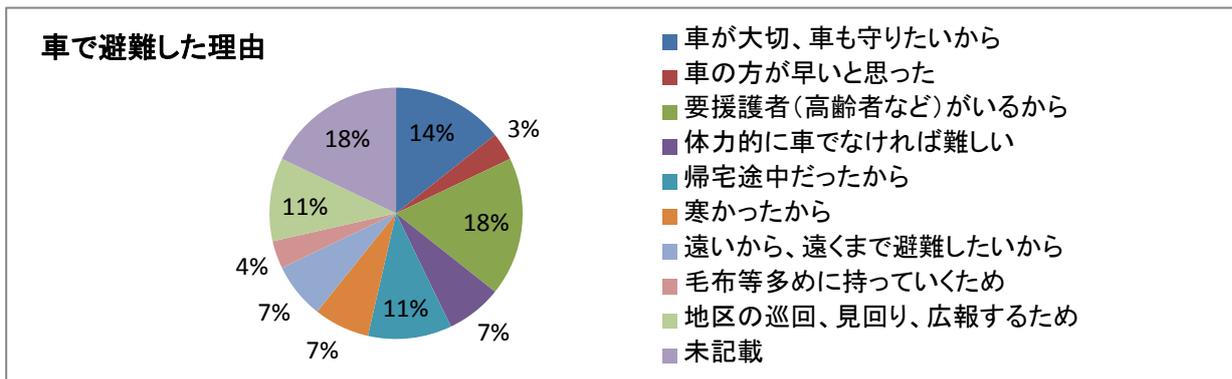
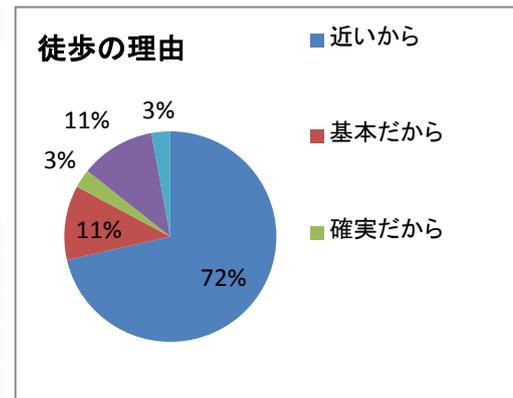
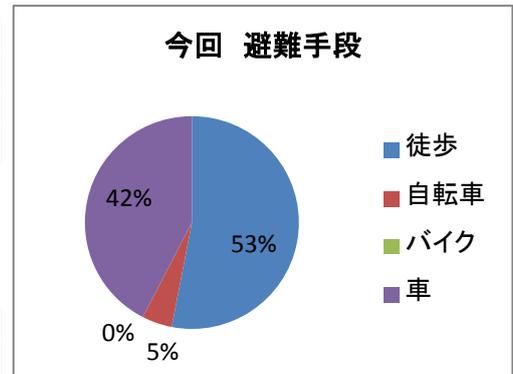
※ 徒歩の理由

近いから	25
基本だから	4
確実だから	1
渋滞するから、渋滞が怖いから	4
既に渋滞していたから	1

- ・ 近いからとした人が75%で最も多く、その他は渋滞するから、基本だから、確実だからといった理由である。

※ 車の理由

車が大切、車も守りたいから	4
車の方が早いと思った	1
要援護者（高齢者など）がいるから	5
体力的に車でなければ難しい	2
帰宅途中だったから	3
寒かったから	2
遠いから、遠くまで避難したいから	2
毛布等多めに持っていくため	1
地区の巡回、見回り、広報するため	3
未記載	5

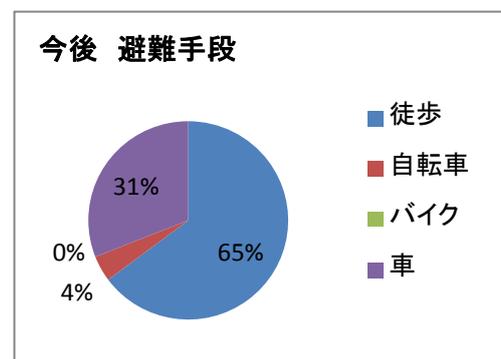


- ・ 車で避難した理由で最も多いのは、「要援護者がいるから」で18%である。
- ・ 「地区内の巡回、見回りや広報をするため」とした人は11%である。
- ・ 「寒かったから」、「遠いから、遠くまで避難したいから」とした人は、それぞれ7%である。

※ 今後は何により避難しますか？

①	徒歩	46
②	自転車	3
③	バイク	0
④	車	22

- ・ 今後についても、若干徒歩とした人が多い。

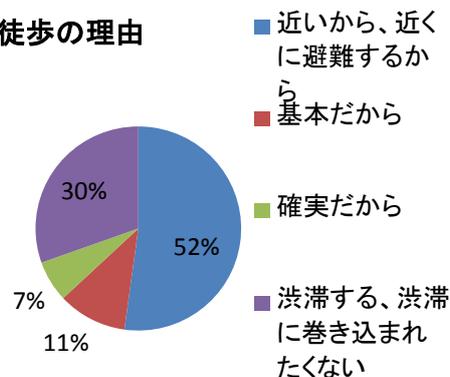


※ 徒歩の理由

近いから、近くに避難するから	24
基本だから	5
確実だから	3
渋滞する、渋滞に巻き込まれたくない	14

- ・ 近いからとした人が52%と最も多く、渋滞する、渋滞に巻き込まれたくないとした人は30%である。

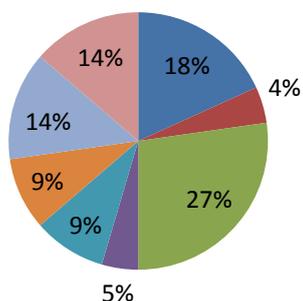
徒歩の理由



※ 車の理由

車が大切、車も守りたいから	4
車の方が早いから	1
要援護者（高齢者など）がいるから	6
寒いから、寒かったから	1
遠いから、遠くまで避難したいから	2
体力的に車でなければ難しい	2
地区の巡回、見回り、広報するため	3
未記載	3

車の理由



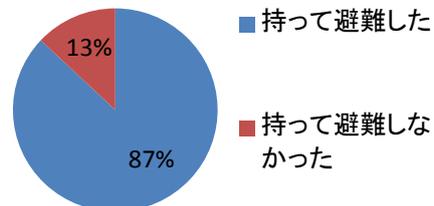
- 車が大切、車も守りたいから
- 車の方が早いから
- 要援護者（高齢者など）がいるから
- 寒いから、寒かったから
- 遠いから、遠くまで避難したいから
- 体力的に車でなければ難しい
- 地区の巡回、見回り、広報するため
- 未記載

- ・ 今後についても、最も多い理由が「要援護者がいるから」である。
- ・ 次に多いのが、「車も守りたいから」で18%である。車を守りたい理由として、その後の生活に支障をきたすからと言った意見が多い。

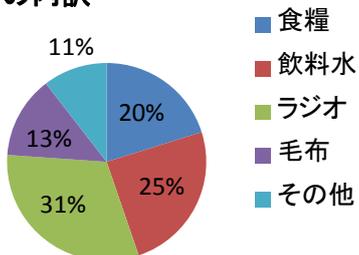
7 非常食、ラジオ、毛布などの持出品を持って避難しましたか？

① 持って避難した	ア 食糧	27
	イ 飲料水	33
	ウ ラジオ	42
	エ 毛布	18
	オ その他	14
	② 持って避難しなかった	20
ア 時間がなかった	イ 必要はないと思った	9
	ウ その他	0

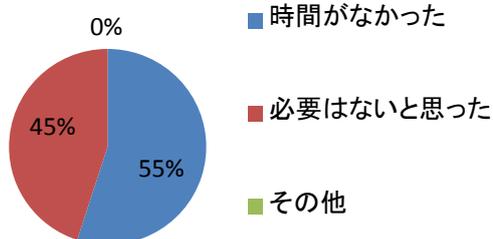
持出品を持って避難したか



持出品の内訳



持って避難しなかった理由



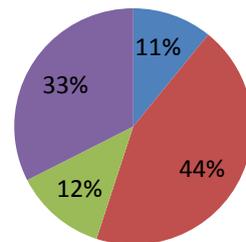
- ・ 非常用持出品については、87%の人が持って避難している。
- ・ その他は、懐中電灯が多く、薬や通帳などである。

8 貴組織内の住民が何人避難したかなどの把握はできましたか？

①	全て把握できた	13
②	全てではないがある程度把握できた	53
③	把握しようとしたが困難であった	15
④	把握はしていない	39

- ・「全てではないがある程度把握できた」とした組織が最も多く44%である。
- ・「把握していない」とした組織の多くは、内陸部や高台などの地区である。

組織内の状況把握



- 全て把握できた
- 全てではないがある程度把握できた
- 把握しようとしたが困難であった
- 把握はしていない

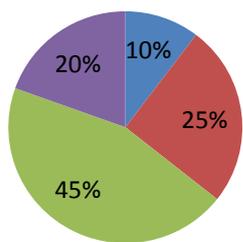
9 避難した住民は非常食、ラジオ、毛布などを持参していましたか？

①	ほとんどの住民が持参していた	9
②	約半数の住民が持参していた	22
③	少数の住民が持参していた	39
④	ほとんどの住民は持参していなかった	17

※ 持出品

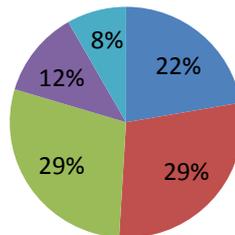
食糧	35
飲料水	45
ラジオ	45
毛布	19
その他	13

住民は持出品は持参していたか



- ほとんどの住民が持参していた
- 約半数の住民が持参していた
- 少数の住民が持参していた
- ほとんどの住民は持参していなかった

持出品の内訳



- 食糧
- 飲料水
- ラジオ
- 毛布
- その他

- ・ 持出品の内訳としては、食糧、飲料水、ラジオが多い。その他は、懐中電灯などである。

10 渋滞発生箇所

地区	箇所・区間	普段
日和山周辺	日和山公園周辺	
	双葉町～石巻高校	
	双葉町～総合体育館	
	石巻中学校南側	
	水道坂	
中里・駅前北通り	中里バイパス	○
	中里農協～国道45号線	○
	中里小学校前	
	ナリサワ～中里バイパス	△
	中里～蛇田	○
	駅前北通りグリーンロード	△
	穀町～中里バイパス	○
	住吉中学校～石井閘門	

大橋・水明	中里バイパス～開北橋	○
	元倉踏切～中里バイパス	○
	石巻地区広域消防付近	
	開北小学校付近	
山下	三角茶屋～七十七銀行穀町支店5差路	○
	石巻警察署～山下駅～バイパス	○
	七十七銀行穀町支店5差路～山下駅	△
	斎藤病院前～山下小学校	
	貞山五丁目貞山堀沿い	○
	国道108号線（三角茶屋～国道45号線）	○
釜・大街道	大街道通り	○
	釜・大街道地区内の大街道通りへ通じる市道	△
	中浦橋付近	○
	雲雀野～工業港	
	石巻中部自動車学校～西北グランド	
蛇田	国道45号線中淬橋～三陸道石巻河南IC	△
	国道45号線曾波神大橋～日赤病院～ヨーカ堂あけぼの店	○
湊・牧山	不動町～内海橋～御所入牧山入口	
	牧山全体	
	牧山トンネル～中里バイパス	○
	牧山トンネル伊原津側～鹿妻小	
稲井	稲井亀山～真野川水門橋	
	稲井駅付近（遮断機故障）	
渡波	根岸付近	
	国道398号線渡波変電所前～万石浦中学校	
	国道398号線～取揚坂	

- ・ 自主防災会長等調査、戸別訪問調査、警察署等からの聞き取りにより、渋滞の発生が確認できた箇所・区間は上記のとおりである。
- ・ 師走の金曜日の夕方ということもあり、普段から渋滞しているところが、更に大渋滞した箇所もある。また、表の右には、普段から渋滞の発生している箇所について、○(渋滞)、△(混雑)で示している。
- ・ 日和山周辺や牧山では、道路沿いに車両が待機したことにより渋滞となったところもある。
- ・ また、表には示していないが、蛇田地区では津波警報と同時に、ガソリンスタンドに車が集中し、渋滞となったところもある。

11 要援護者(歩行困難な高齢者や障害をお持ちの方など)の避難や支援への意見

多数意見

- ・ 自主防災会や町内会の役員、民生委員が声掛けをした。
- ・ 声掛け等を行ったが、自宅2階等で待機する者が多く、実際には避難はしていない人が多い。
- ・ 今回は2階に避難する人が多かったようだ。
- ・ 民生委員が一人暮らしの家を回り声掛けを行った。
- ・ 町内会で、まだ支援者の把握や具体的方針等の確立を行っていないので早急に検討したい。

その他

- ・ 車を所有している者同士が声をかけ、分散し避難した。
- ・ 高齢者や障害者については、車で避難させた。
- ・ 3.11の前例があるので、早く高台、避難場所へ逃げるのが一番。町内会の総会等でも申し合わせをしているのでみんな守ってくれていると思う。
- ・ 役員等が要援護者等に声掛けを実施していて命を失った場合はどう考えているのか。まず、自らの身を守るのが第一ではないのか。
- ・ 一部の民生委員が担当地区の要援護者への声掛けはしたが、要援護者を連れて避難することは難しい。

12 その他(避難方法や避難所について)の意見

多数意見

- ・ 牧山周辺、渡波根岸、平形取揚付近が警報の度に大渋滞する。避難道路の整備を早急をお願いしたい。また、車が退避できる場所も必要である。
- ・ 今回は教職員が学校滞在中に警報が発表されたため、避難所の開設はスムーズであったが、夜間等はどうなるのか心配だ。
- ・ 現在の車社会を考えれば渋滞は必然的ではないか。車を守りたい一心で車を移動させたために渋滞が発生している。

その他

- ・ 防災無線について、全市的に避難を呼びかけるのではなく、内陸部と沿岸部に区別して避難の呼びかけをすることが、渋滞の緩和につながるのではと感じた。
- ・ 当町内会では、一時避難所としてパチンコ店との間で、住民が避難できるように覚書を締結しており、今回もパチンコ店駐車場へ避難した。
- ・ 地域毎に避難すべき避難所を決め、周知することにより、情報の集約が（避難者の確認等）できる。
- ・ 避難できる高台や避難所が遠いので、避難ビルや避難タワーの整備をお願いしたい。